

昭和五十五～六年度  
修復文化財関係銘文集

目次

- 昭和五十五年度
- 1 十一面観音立像 天文七年四月八日銘 島根 報恩寺
- 2 十一面観音立像 貞享五年四月十九日・元禄七年九月二日修理銘 奈良 法起寺
- 3 慈恵大師坐像 文永二年十二月十八日銘 滋賀 延暦寺
- 4 舞楽面 嘉元三年九月日銘 愛媛 宇和島市 八幡神社
- 昭和五十六年度
- 5 阿弥陀如来及右脇侍坐像 建仁二年九月二十日・二十六日銘 福島 願成寺
- 6 阿弥陀如来坐像 建仁年銘 愛知 無量光院
- 7 如来坐像 三重 新大仏寺
- 8 阿弥陀如来立像 文永五年閏九月七日銘 香川 清立寺
- 9 阿弥陀如来坐像 元禄八年季夏上旬・宝暦五年三月十一日修理銘 愛知 野間大坊
- 10 釈迦如来坐像 永享四年四月十一日銘 京都 永明院
- 11 観音菩薩坐像 享和元年修理銘 愛知 安楽寺
- 12 地藏菩薩坐像 延文六年二月九日銘 大分 雲谷寺
- 13 金剛力士立像(阿形) 建治元年正月八日銘 大阪 龍泉寺
- 14 狛犬 永享十一年銘 香川 水主神社
- 15 大般若経 京都 如意寺  
永暦元年十月三十日奥書  
長寛二年十二月十七日奥書  
正治二年四月二十八日奥書  
元久二年五月三日奥書  
建保四年十一月五日奥書  
貞永元年九月奥書  
寛元四年後四月六日奥書  
元亨元年三月十二日奥書  
正中二年四月六日奥書  
正平八年十月一日奥書  
明德三年六月二十三日奥書
- 16 三百六十番歌合 建永元年九月十三日奥書 奈良 天理大学  
(建治三年十月日)
- 17 日蓮上人御筆御本尊 (弘安元年八月日) 京都 本能寺  
(弘安三年五月八日)  
延宝五年修理銘
- 18 両界曼荼羅図 (伝真言院曼荼羅) 天和四年二月十五日修理銘 京都 教王護国寺
- 19 太陽和尚像 元禄三年正月十一日修理銘 愛知 長興寺
- 20 灯籠 正平二十四年四月八日銘 大阪 日部神社  
享保十七年孟夏吉旦銘
- 21 金銅装神輿 文政十一年四月・天保九年四月銘 滋賀 日吉大社  
嘉永六年銘
- 22 鬱金地銀并桁桐文様縫箔 文化八年末三月吉日銘 広島 厳島神社

○配列は両年度に分ち、彫刻(如来・菩薩・神将・肖像・その他)・書跡・絵画・工芸とし、各々銘文の年代順とした。

○参考文献 3は宇野茂樹編『近江造像銘』

7は田辺三郎助「伊賀別所本尊考」、『仏教芸術』一〇五

15は林屋辰三郎・上田正昭編『篠村史』

昭和五十五年度

1 十一面觀音立像 県指定文化財

〔首柄墨書〕

奉□供養長□

半仏尊像十一面

觀音本願□

〔因〕郎右衛門

住寺□□房

檀那佐々木尼子

伊与守源経久同

民部□□久

湯信濃守久長

大西兵庫助久忠

東次郎右衛門尉久連

仏師□□久□

〔足柄墨書〕

都七条運慶子孫

大仏師式部卿法印 愚息

康運作日本第一之 龜□□

熊野権現同作也 同作

天文七年 戊戌卯月八日

木造 一軀 像高 四三二・〇 cm 島根 報恩寺

2 十一面觀音立像 重要文化財

〔背板墨書〕

十一面觀世音尊像

貞享五 戊辰四月十九日

〔足柄墨書〕

元禄七 甲戌歲

閏九月二日

願主

比丘碩淨

〔足柄底裏墨書〕

□都猪熊通四条上丁

□工

大前道円

同名 木工之亟

氏春

□年

二月二十日

〔備考〕修理銘

奈良 法起寺 木造 漆箔 一軀 像高 三五〇・二 cm 御長卷丈九寸、

聖徳太子之作也然其年久敷荒蕪而尊躰悉亡失□ 於此願主比丘本染嘆之尊躰ヲ願修治センコトヲ于時大坂難 波瑞龍寺弟子祥雲之小刀頼テ十一面并而乎造作者也

和州平郡岡基法起寺

3 慈惠大師坐像 重要文化財

滋賀 延曆寺

〔像内膝裏墨書〕 佛子榮盛年来

木造 彩色 一軀 像高八五・七cm

深信仰慈惠大師聖靈<sup>(カ)</sup>

効驗之故心中発願<sup>(カ)</sup>我一生

涯之間奉造立等身御影三十三軀蓋<sup>(カ)</sup>

是依貴本地三十三身之濟度為仰垂迹

三十三軀之利益也凡濁世未代之作法

仏界神通之利生離似疎大師応化之靈

驗実掲焉也所以念<sup>(カ)</sup>摧邪山宛同四大大

金針之諸尊夜<sup>(カ)</sup>護禪林不足二万八万発

誓之衆生三千人之徳花因是無<sup>(カ)</sup>委數百歳

之法燈為之未滅是以欲弘魔事魔縁之時

者山門必遂供養於千軀万軀之凶像欲防怨靈

鬼靈之処者都鄙崇尊容於大家小家之門戸

何只天台四明之固都是日本一州之街也佛子

弘長元年豎此造功每年不闕欲励其微力今尊

像者即第五度造立也帰敬下限山上尊崇盛於

天下之故敢不貧冥助於一身為令施巨益於

万人欲令所造之御影奉請有縁之諸方夫興

隆佛法者大師本懷也拔苦与楽者本地悲願也

不忘本迹之元意必施現当之勝利

又願致瞻仰於一躰之人則得已奉造立三十三躰

之功德積行業於一躰之人則融通成已奉恭敬三十三

〔注〕 離は雖の誤記か

〔注〕 足は異の誤記か

〔注〕 委は萎の誤記か

〔注〕 街は衝の誤記か

躰之薰修矣又願於此願見聞隨喜之道俗誹謗讚嘆

之衆生於此像致一称一礼之輩供一花一香族不論

親疎遠近男女貴賤皆結一佛淨土之来縁悉登三身

證得之覺位乃至法界利益不限矣<sup>(カ)</sup>又願三世十方

一切諸佛諸大菩薩皆悉值遇於彼一<sup>(カ)</sup>佛菩薩所尽諸

供養悟諸法門度諸衆生殖諸善本亦往無佛黑暗世

界種<sup>(カ)</sup>方便度脱衆生若未登位兼仏神力自界他方

日<sup>(カ)</sup>往還若自在位恒遍法界无来無去成弁此事乃至

一切世界塵一<sup>(カ)</sup>塵中見法界我於各<sup>(カ)</sup>法界中修習

究竟諸佛道広度円満无盡生永断円融無邊或

修習円融无導道澄得円融无上果又願三世十方

一切三寶満山守護<sup>(カ)</sup>法冥衆日本国中一切

神祇山王七社王子眷属三国

伝灯諸大師等殊別慈惠大師以慈

眼照我願必令成就必令果遂

至心発願僧栄盛稽首

和南敬白

文永二年十二月十八日

造立供養畢

〔背裏墨書〕

奉<sup>(カ)</sup>摺写楽葉師如来阿彌陀如来觀音毗沙門慈惠大師

奉書写法花経一部觀音品諸陀羅尼<sup>(カ)</sup>千觀十大願

栄盛<sup>(カ)</sup>生年三十二歳  
(花押)

慈惠大師御作觀音讚

4 舞楽面 県指定文化財

〔面裏朱漆書〕

大神宮

散手直

嘉元三年乙卯九月日

木造 彩色 一面 面長二三・八cm  
愛媛 宇和島市 八幡神社

昭和五十六年度

5 阿弥陀如来及右脇侍坐像

重要文化財

木造 漆箔 二軀

阿弥陀如来  
脇侍

愛知 無量光院  
像高一三九・八cm  
像高九七・九cm

阿弥陀如来

〔像内膝裏墨書〕

阿

願主沙弥行西

比丘尼妙阿弥陀仏

阿

(膝前)

二千石藤原清広

芳縁源氏

所生愛子

建仁二年壬戌九月廿日執筆覚範

仏師僧寛慶

阿

阿

〔像内背及び胸・左脇裏墨書〕

(左脇)

阿

(背)

阿

阿

願主入道

行西

天天

阿

阿

阿

阿

〔背材矧合面墨書〕執筆覚範

(胸)

阿

阿

阿

阿

右脇侍  
〔像内膝裏墨書〕

建

大願主沙弥行西

比丘尼阿弥陀仏

二千石藤原安綱

(膝前)

女大施主藤原氏

仏師僧寛慶

建仁二年九月廿六日

執筆寛範

〔頸部内面墨書〕

建

前

建

後

建

〔像内背及び胸・左右脇裏墨書〕

(背)

建

建

(右脇)

建

(胸)

建

建

(右脇)

建

南无得大勢菩薩

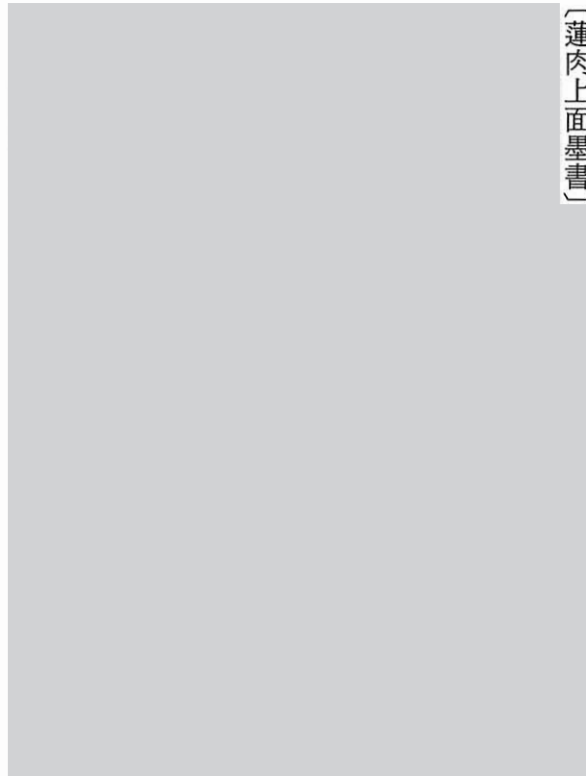
6

阿弥陀如来坐像 重要文化財

木造 漆箔 一軀 (阿弥陀如来及両脇侍の内) 像高 八四・八 cm

福島 願成寺

〔蓮肉上面墨書〕



阿弥陀如来坐像台座蓮肉上面墨書

〔備考〕墨書中に「建イ(仁)」とする。

7 如来坐像 重要文化財

木造 漆箔彩色 一軀 像高二九三・〇cm

三重 新大仏寺

ホツミノ女

〔頭部内面墨書〕

(1) 頂から右耳にかけて

源阿弥陀佛(梵字アンカ)

南無阿弥陀佛 中原氏

沙弥覚女房

僧快俊

僧快俊

藤原氏

主典資座

沙弥妙法 源安吉 福阿弥陀佛

行家

大証法主

□ 阿弥陀佛

□ 阿弥陀佛

□ 阿弥陀佛

□ 阿弥陀佛

□ 阿弥陀佛

(2) (1)につづき右耳下から顎にかけて

沙弥入蓮

藤原氏

平氏

大中臣時家

同家□沙弥意阿弥

ハタノ末国

□ 中

大中臣家家□ (為カ)

藤原□□ (国カ)

僧慶西

中原女

□ 女

武蔵殿

随阿弥陀佛

僧慶

僧慶

同沙弥

女

□ 助

□ 助

弁阿弥陀佛

(以下数行不明)

〔首柄墨書〕

(1) 首柄部の左側木口に

僧信慶 僧快尊

(梵字)

僧信慶 僧快尊

大佛師安阿

大和尚南無阿彌陀

法界衆生僧慶蓮

首柄部の右側木口に

(2) 如阿

得阿

僧良快

僧良円

登阿彌

阿

佛

8 阿彌陀如来立像 県指定文化財

木造 素地 一軀 像高一〇〇・九cm 香川 清立寺

〔像内胸部墨書〕

奉造立志者為悲父悲母

往生極樂也

文永五年壬九月七日僧長円謹写

9 阿彌陀如来坐像 県指定文化財

木造 漆箔(後補) 一軀 像高八八・〇cm 愛知 野間大坊

〔頭内部墨書〕

なもわみ

なも

なもわみたふく

南无阿彌陀仏

〔台座蕊裏墨書〕

大坊第四照円代再興之

于時 元禄八乙 亥 稔季夏上旬

仏師

名古屋住

久七良

〔異筆〕 本堂造畢入仏之物三尊共二

再興之

別当 大坊七世頼円代

宝曆五龍集乙 亥三月十一日

入仏供養

仏工名古屋住人

青木吉兵衛

〔備考〕 台座蕊裏墨書は修理銘

10 釈迦如来坐像

木造 金泥彩色切金 一軀 像高五三・七cm 京都 永明院

〔像底胡粉書〕

西園寺大仏師法印性

永明菴御本尊

永享四年甲子四月十一日圖

11 観音菩薩坐像 重要文化財

木造 漆箔(後補)一軀(阿弥陀如来及両脇侍の内)

愛知 安楽寺  
像高一・一・二 cm

〔左上膊部内側墨書〕

尾

享和元年

(備考) 修理銘と考えられる。

12 地藏菩薩坐像 県指定文化財

木造 彩色 一軀

大分 雲谷寺  
像高三六・三 cm

〔像底墨書〕

延文<sup>(異筆)</sup>二月九<sup>辛</sup>卯奉安置之<sup>丑</sup>

檀那本木村守道歳六十二

本寺開山一超真入叟開眼之

13 金剛力士立像(阿形) 府指定文化財

木造 彩色 一軀(二軀の内) 像高三五三・〇 cm

大阪 龍泉寺

〔像内背面腰右寄部墨書〕

仏師法橋寛慶

建治元年卯月八日

施主僧為筆

(備考) 吽形は五十七年度修理。

14 狛犬 県指定文化財

木造 彩色 一对 像高阿形 六一・五 cm 吽形 六二・五 cm

香川 水主神社

阿形

〔底面墨書〕

永享十一

全秀

〔背割部墨書〕

□工三位 全秀

永享十一年八月六日敬白

吽形

〔底面墨書〕

三位 □

□ □

□ 工

15 大般若経

紙本墨書 六百卷 二四・二×一〇・〇 cm 最大長 九七五・八 cm

京都 如意寺



〔卷三三奥書〕

正中貳年卯月六日一校了律師快尊

〔卷五一奥書〕

一校了

養樂寺常住也

願主宗秀

〔卷一二三奥書〕

一交了

瀧尾山満福寺持經也

元享元年辛酉三月十二日 転読之

〔卷一五九奥書〕

元久二年五月三日辰時一交了

右筆沙門金剛仏子寮運(カ)

雖惡筆无極為滅罪生善書写如斯云々

〔卷二七九奥書〕

于時明德三年壬申六月廿三日書写畢

河州讚良郡甲可郷内瀧尾山常住御經也

依為闕卷如鳥跡令書写畢

執筆実俊

〔卷五〇三奥書〕

貞永元年九月(カ)  於春日御社一交了仕  (法眼カ)

〔卷五〇四奥書〕

貞永元年九月   於春日御社一交了仕   (法眼カ)

〔卷五〇九奥書〕

正治二年卯月廿八日酉時許令書写了

般若修行沙門信阿

〔卷五二三奥書〕

於河州讚良郡瀧尾山南谷染愛坊書写畢

正平八年十月朔日 執筆盛俊

鎮守大般若不足分書入之

〔卷五一四奥書〕

長寛二年十二月十七日立春以惠命坊日意令転読了

〔卷五五〇奥書〕

寛元四年後四月六日校之并少々付仮名畢明算

施主権律師快尊(花押)

〔卷六〇〇奥書〕

永曆元年大歲庚辰十月卅日午時許奉書写了

願主美洲管東郡饗庭御庄定使藤原吉包

女弟子伴氏

一部六百卷己果願心畢云々

一校了(異筆)

建保四年十一月五日午刻於春日安居房以慈蓮房本一交了為

以所生功德五生々世々值遇般若出離生死終証无上并(カ)

16 三百六十番歌合 重要文化財

奈良 天理大学

紙本墨書 六帖 各三・九×一五・二cm

〔目録奥書〕

建永元年<sup>丙寅</sup>九月十三日<sup>卯辛</sup>申刻書了

始自同六日迄二十三日八ヶ日之間書之了

校了 光潤

重比校了 盛家

17 日蓮上人御筆御本尊

京都 本能寺

紙本墨書 三幅 中幅長一二七・〇cm 左幅長一一三・七cm

右幅長一一四・〇cm

中幅

〔裏面墨書〕

弘安三年大才<sup>(マ)</sup>庚辰五月八日

御年五十八才<sup>(マ)</sup>御筆

〔軸貼付墨書〕

本能寺常住 赤地金欄 表飾者 從古代伝之改補

治焉延宝丁巳年也 表補 解行者平野氏

某賂焉 表具師 牧田九郎兵衛安重補治焉

勸縁沙門日玄

左幅

〔裏面墨書〕

蓮師御本尊第一号

建治三年大才<sup>(マ)</sup>丁丑十月日

御年五十六才<sup>(マ)</sup>御筆

三幅対の内 西ノ方に奉掛ル事

西 建治

〔軸貼付墨書〕

本能寺常住 于時延宝五丁巳年 改而補治表飾

金欄石井氏承意寄附拾焉表具師

牧田九郎兵衛安重補治焉

勸縁沙門 日玄

右幅

〔裏面墨書〕

蓮師御本尊第二号

弘安元年大才<sup>(マ)</sup>戊寅八月日

御年五十七才<sup>(マ)</sup>御筆

東 健郎

三幅対之内 床ノ間東ノ方ニ奉掛

〔備考〕裏面墨書はいずれも江戸時代の修理時の銘。

右幅軸貼付墨書は左幅と同じ。

18 両界曼荼羅図

(伝真言院曼荼羅) 国宝

京都 教王護国寺

絹本着色 二幅 各縦一八三・〇cm 横一五四・〇cm

〔旧軸木墨書〕

両界曼荼羅 式幅之内 東寺西院常住物也 修幅<sup>(マ)</sup>弘法大師八百

五十年忌

于時天和四年<sup>甲</sup>二月十五日仕立<sup>早</sup>  
下京五条坊門通上柳町御表具師中尾氏淨阿弥銀弥貞栄細工也  
(備考) 修理銘。金・胎兩軸とも同一銘。昭和55～56年の修理。

19 太陽和尚像 豊田市指定文化財 愛知 長興寺

絹本着色 一幅 縦一〇六・四cm 横五五・四cm

〔裏面墨書〕

依破失禱焉

元禄三年庚午正月十一日

長興当住義寅謹誌

(備考) 修理銘

20 灯籠 重要文化財

石造 一基 大阪 日部神社  
高一八三・三cm

〔竿部陰刻銘〕

(右) 和泉国大鳥郡草部上条  
牛頭天王灯炉也

(右) 正平二十四年己卯月八日

21 金銅装神輿 重要文化財

木製 金銅製 滋賀 日吉大社  
金銅装神輿七基の内

牛尾宮

〔懸鏡鑄銘〕

日吉 山王八王子権現

〔瓔珞裏刻銘〕

天保九戌四月 八王子鑄師躰阿弥

又は 鑄師森田五兵衛

躰阿弥吉兵衛

〔神輿底板墨書〕

嘉永六<sup>癸</sup> 丑天仲冬

学頭代 仏乘院

奉行

竹内菊源  
柳延代  
三田備前

日吉大八王子神輿再造

大工 上坂本明良町  
棟梁 半兵衛

重太郎  
明良町

太助

馬場先町  
新藏

鑄師 小谷和泉

鍛冶師 八条  
治兵衛

塗師 馬場先町  
市兵衛

白山宮

〔額裏銘〕

文政十一年子四月 中嶋延由彫之

禁裡御鑄所棟梁

新調額字写之

〔懸鏡鑄銘〕

日吉山王客人大権現

(備考) この二宮分は五十五年度の修理

西本宮

〔懸鏡鑄銘〕

当社懸鏡天正十七之載天輔吉隆母

□禪尼□寄附謹識

享保十七季孟夏吉旦

宇佐宮

〔額裏銘〕

延宝二甲寅天十一月吉日

文政十一戊子四月御額新調

〔懸鏡鑄銘〕

聖真子権現神輿之鏡 十大 二小

四月吉日 横川大衆等

22 鬱金地銀井桁桐文様縫箔

縹子地 一領 丈一四九・〇cm  
廣島 嚴島神社

〔裏裂墨書〕

文化八年未三月吉日

宮島御奉行 青木猪助殿新御調